

東京健康科学大学ベトナム 第4回入学式挨拶

Bài phát biểu tại lễ khai giảng

Trường Đại học Y khoa Tokyo Việt Nam

(2019年9月21日(土) 13時00分 於:東京健康科学大学
ベトナム)

久住(くすみ) 眞理 東京健康科学大学学長,
Ông NGUYỄN DUY HƯNG フンエン省 人民委員会副委員長
Giám đốc 国立老年中央病院 病院長様(祝辞)
御列席の皆様

●新入生の皆さん、東京健康科学大学ベトナムへの入学、心よりお祝いを申し上げますとともに、人生の門出に際し、2点話をさせていただきます。

●一点目は、東京健康科学大学ベトナムの発展に関してです。
本学は、2016年に開校し、その年の新入生は9名でした。それから3年、今年は当時の約4倍、36名の新入生の皆さんを迎えており、在籍者数は148名にもなっています。

また、当初、看護学科と理学療法学科で始まりましたが、臨床検査学科、診療放射線学科、技師装具学科といった新たな職種も加わっています。更に、附属病院の建設計画も進められています。

この3年間の着実な発展を祝福申し上げますとともに、関係者の皆さまご尽力に心から敬意を申し上げます。

●日本においては、既に少子高齢化が進行し、看護・介護人材の不足はとても深刻な問題となっています。

また、ベトナムにおいても、近い将来、急激な勢いで高齢化が進行すると見込まれており、確実に高齢者医療や介護の必要性は高まり

ます。

●本大学で学んでいる皆さんは、日本とベトナム両国で、大いに活躍するチャンスを得られました。これから本大学で学ぶことを活かして、沢山の人を助けて頂きたいと思います。

●二点目は、久住（くすみ）学長ご自身に関してです。

学長は、本大学の学長だけでなく、日本では人間総合科学大学長、日本心身健康科学会理事長なども務めておられます。また、「ストレスと健康」など「心と身体の健康の関係」、「人は、いかに生きるべきか」について沢山の著作があります。

新入生の皆さんも、これからの人生において様々な悩みや問題に直面されます。皆さんが、これからのいのちを、「より良く生きる」ために、久住学長は「沢山の知恵」を有しておられます。

例えば、久住学長は、ある著作の中で「しなやかに生きる」ことの大切さを説いておられます。「しなやか」とは、失敗したとしても、また、たとえ自分の思い通りにならないとしても、臨機応変に挑戦し続ける態度が重要ということです。

●新入生の皆さんには、本大学において、医療に関する専門知識のみならず、「いかに生きるべき」かについても考え、学んで頂ければと思います。

●新入生の皆さんの明るい未来、東京健康科学大学の更なる発展、日越関係の一層の関係強化を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

●ありがとうございました。（了）